

編輯室の内外

天高く馬肥ゆる秋のシーズンもいつしか書に親しむべき冬が近くなつた、編輯子もいさゝか、元氣を回復して各位の恩顧に酬ゆる所あらんことを期し、漸く豫定の期日に刊行することを得たが去る日T氏編輯室に潜入し來りて「ナンド此頃の誌面はナツテオランダヤナイカ」と爆聲一發、エチオビヤ兵ならねども何等の武器なき編輯子は聊か面喰はされた、此上は寄稿せらるゝ各位の高援を得て一段と誌上に生氣を旺盛せしむる所がありたいものであると祈る次第である。

鐵道省が内務省關係方面の不快を買ふことも厭はず斷然敢然たる處に省管自動車運輸の新開始及既設の延長を實現するので内務省では不當なる負擔金の少額にも甘んじ省管自動車經營當局と妥協し道路の改修を行ふ地方には國庫補助の必要なきものと認むるの外なき主旨を示達する所があつても鐵道當局の一顧だにも値ひしないのか、豫定の方針に従ひ着々擴張實施に向つて突進して居る、處が長野縣の自動車經營者間で

は省管自動車の擴張は民業に對し甚だしき迫害を加ふるもののみでなく農村並に中小商工業を極度に疲弊せしめ、率ゐて地方財政を愈々益々窮迫状態に追ひ込むことに拍車をかくるものであるとの見解を以て斯界當業者よりは、鐵道當局に町村長會々長よりは地方長官に陳情する所があつた、鐵道當局では如何に處置するであらうか、非常の時局である地方民を不安不満に導くことは慎重に考慮を要することである。

東京市電更生の方策に關しては中々容易に適切な案は見出さるべくもないが空想的な目論見を立てたり、實行の出來難きを知りつゝ無理な案を考へたり、曠日彌久徒らに負債を増額せんよりは使用者の整理、自動車の擴張、地下鐵の計畫實施、賃金割一制の撤廢、市會議員の人事容喩等の方面に向つて敢然力を盡す所があつては如何。

本年は何の理由があつて屢々水害の祟を受けたのかまさか秘政百出天の恨を買つたと云ふのでもなかるべく、國體明徴の雲が全く消散しないとの郷軍の訴を兩師が受理した譯でもなからうが東京土木出張所の調査に依ても利根川及江戸川の洪水量でも恐

怖せざるを得なかつた現象である土木工法の人力何時まで自然力を征服し得ないのか畢竟は金の力でなければならぬのか人の和にて天に勝つと結論したいことである。明年度の政府豫算編成の高潮期となつた、各省の新規要求に對して大藏當局は如何に分配せらるゝか、高橋老藏相は早くも協力豫算の好題目で分捕主義に對する防禦線を張つたとの事である、風水害に依る土木費の要求は抽象的でなく國民の實生活に關する具體的經費である、野暮な査定は差控へられたい。(洩)

定價一部五十錢
一ケ年分金六圓

發行所 東京市麹町區外樓田町一番地内務省內
社団法人 道路改良會
電話銀座(57)四二七

發行兼編輯者 東京市世田谷區北澤町五丁目七五二
小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五六
常磐印刷所

印刷者 奈良直一